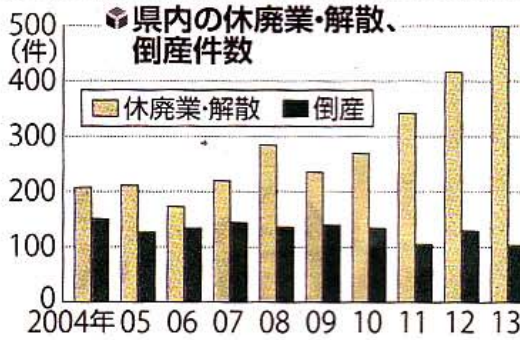


休廃業・解散最多499件

昨年、県内企業 後継者不足など影響

昨年1年間の県内企業の休廃業や解散は499件で、過去10年間で最多となったことが東京商工リサーチ津支店の調査で明らかになった。一方、昨年の倒産件数(負債額1000万円以上)は過去10年間で最少の103件だった。同支店は「金融機関による支援で倒産は抑制されたが、業績不振や後継者難などで継続を断念する企業が増えている」と分析している。

休廃業は、資産が負債を上回る状態で事業を停止すること、倒産に集計されない。資産に余力を残して清算手続きを行う解散も倒産に含まれない。県内の休廃業・解散は、2007年



が214件と全体の42.9%を占めた。同支店は「公共投資が増えるなど活況を取り戻しているが、これまでの業績低迷に加え、人手不足や資材高騰で先行きが見通せず、事業を断念するケースが増えた」とみている。

けいざい情報

零細な飲食業が多く、小売業は厳しい価格競争が要因の一つという。

昨年の休廃業・解散と倒産の合計は602件と前年(545件)を10.5%上回った。同支店は「中小、零細企業の実態把握には休廃業・解散への目配りも必要。団塊世代の経営者の引退に伴う後継者不足でさらに休廃業・解散が増える可能性もある」と指摘している。

◆大吟醸を県内限定販売

酒造会社「宮崎本店(四日市市)は大吟醸の雪」を写真限定で県内限定で22日発売した。



例年は5月半ば以降に売り出していたが、今年はゴールデンウィークに里帰りする人たちに味わってもらいたいと、販売時期を早めた。伊賀産山田錦を

100%使用。価格は1728円(500ミリ・瓶、税込)。限定1200本の販売となる。問い合わせは同社(059・397・3111)。

◆作業しやすい手袋開発

松阪市大口町の手袋・保冷剤メーカー「三重化学工業」(山川寛社長)が従来の製品より柔らかく、作業しやすい「ハイブリッド手袋」を写真を開発し、ホームセンターなどで販売している。同社は1956年設立。「ミエローブ」というブランド名で作業用手袋を製造、販売し



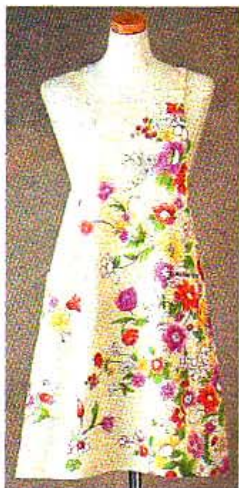
ている。新製品はポリ塩化ビニールと合成ゴムのニトリルゴムを配合して製造。曲がりやすさは従来品の4倍近くになった。研究開発に20年以上かかったという。「簡単に混ざらない原料を配合比率などを考えて混ぜ、開発した。工場などで働く女性に最適」としている。540円(税別)。防寒用は1550円(同)。問い合わせは同社(0598・51・2361)。

5月11日の「母の日」を前に、全館で母の日プレゼントフェアを開催中です。

▽ビビッドカラーで、気分も軽やかになりそうなフォリフォリの財布(1階アクセサリー売り場、税込1万800円)＝写真上



アルなファッションリッチなモットホルダーバッグ(2階ハンドバッグ売り場、同1万800円)。ガントで落ち着いたハナエモリのエッセンス5階インテリア売り場、同4104円)＝写真下



【お祝い特典】お母さまに母の日プレゼントを5000円以上お買い上げいただいた方にスタンプ、さらに、6月に父の日プレゼント100円以上お買い上げいただくと店内の飲食券をプレゼント

お母さまの作品展示

お子様に描いていただいたお母さまの作品を4月26日～5月19日、各フロアにて展示いたします。

※ 服飾雑貨をはじめ、洋服やバッグ、など、各売り場でプレゼントにぴったりに取りそろえています。また、当や、日帰り温泉プランなど家族みんなも用意しました(川合正・取締役 談・似顔)。問い合わせは0598・51・2361。写真提供は津松菱。